

各 位

第2四半期（累計）連結業績予想との差異及び通期業績予想の修正並びに剰余金配当（第2四半期末配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

また、本日開催の取締役役会において、最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 10 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期の通期連結業績予想並びに配当予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 平成29年3月期第2四半期（累計）連結業績予想との差異（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A）	百万円 3,768	百万円 168	百万円 168	百万円 72	円 銭 8.75
実績値（B）	3,370	△198	△298	△529	△64.36
増減額（B－A）	△397	△366	△466	△601	－
増減率（％）	△10.5	－	－	－	－
（ご参考）前期第2四半期実績 （平成28年3月期第2四半期）	4,139	313	318	134	16.40

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 7,850	百万円 350	百万円 350	百万円 150	円 銭 18.22
今回発表予想（B）	7,000	△530	△620	△900	△109.33
増減額（B－A）	△850	△880	△970	△1,050	－
増減率（％）	△10.8	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 （平成28年3月期）	7,621	289	237	87	10.62

3. 業績予想と実績との差異及び通期業績予想修正の理由

平成 29 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間につきましては、世界経済の成長鈍化などの理由により各セグメントの販売状況が好転せず、また急激な円高への為替相場の変動の影響により連結売上高が期首予想を下回りました。営業利益は、フィリピンのマクタン工場立ち上げコストなどの将来を見越した先行投資や、販売不振に伴う滞留在庫の評価損の計上などにより前回発表予想を下回ることとなりました。経常利益は、為替相場の変動により為替差損を計上したこと、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は業績の推移を鑑み繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産の一部を取崩したことにより、前回発表予想を大きく下回ることとなりました。

平成 29 年 3 月期通期業績予想につきましては、国内外各地域において受注が回復傾向にあるものの為替などの影響もあり市場環境の急激な回復は見込まれないことを踏まえまして、売上高を上記の通り修正いたします。利益面につきましては、引き続き費用の抑制に努めて参りますが、主に売上高が期初の予想より減少すること、またマクタン新工場の立ち上げコストが継続することなどを鑑み、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益においても上記の通りに修正いたします。なお、為替の前提レートは 1 米ドル 115 円から 105 円に変更されました。

4. 平成 29 年 3 月期 剰余金配当（第 2 四半期末配当）及び期末配当予想の修正

(1) 剰余金配当（第 2 四半期末配当）及び期末配当予想の修正内容

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期末	年間
前 回 予 想 (平成 28 年 5 月 10 日発表)	5.00 円	5.00 円	10.00 円
今 回 修 正 予 想	—	4.00 円	7.00 円
当 期 実 績	3.00 円	—	—
前期(平成 28 年 3 月期)実績	5.00 円	5.00 円	10.00 円

(2) 剰余金配当（第 2 四半期末配当）及び期末配当予想の修正理由

当社は、利益配分につきましては株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と位置づけており、収益の状況及び将来の事業展開等を勘案して安定的な配当の継続を行うことを基本方針としております。

こうした基本方針のもと、本日発表の業績予想の修正及び今後の経営環境等を勘案し、平成 29 年 3 月期の配当予想につきましては、誠に遺憾ではございますが、中間配当を当初予想 5 円から 2 円減配の 1 株当たり 3 円、また期末配当金につきましては当初予想 5 円から 1 円減配の 1 株当たり 4 円とさせていただきます。これにより、当期における年間配当予想は 1 株につき 7 円となります。

(注) 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上